

## 学会記事

◎第2回理事会 (昭.32.7.18)出席者:内海会長,篠原副会長,東,中安,飯吉,国分,丸安,高野,逸見,米屋の各理事。議事:1)6月中の行事その他報告,2)昭和32年度支部交付金の決定,3)夏季講習会のプログラム,予算,会費を決定し各理事から聴講者を勧誘すること,4)原子力委員会の名称を原子力土木技術委員会とする,5)委員の追加(耐震工学委員会:猪瀬寧雄君,海岸工学委員会:比田正君,有賀世治君に委嘱,肥後春生君退任),6)土木学会規則第12条第3項による会費免除者を承認(浜野直義君,橋本敬之君,奥沢耕造君,中村廉次君,久保田実君,安田靖一君,五十嵐三郎君),7)会員入退会承認,8)その他。

### ◎各種委員会

1. 第2回会誌編集委員会 (昭.32.7.24)出席者:国分編集部長,糸川委員長,南,森,伊東,栗栖,粟津,八十島,安藤,岡崎,小林,三上,奥田(代吉岡)各委員,後藤,小西,網干(代門田)各地方委員。協議事項:1)投稿原稿審査報告,2)原稿依頼状況,3)次回講座について,4)42巻9号登載原稿を次のとおり予定した。

角坂仁忠・川口正弥:波止浜海岸地盤変動対策事業の概要について,成岡昌夫・松繩勉:計数型継電式電気計算器と応用力学への応用,松井達夫:技術士法の要点,藤田龜太郎・宮崎義成:台湾におけるプレストレストコンクリートの現状,近藤利八:地下水講座(第2回)

2. 第2回会誌編集小委員会 (昭.32.7.5)出席者:糸川,丸安正副委員長,八十島,伊東,坂野(代)各委員,深谷幹事,岡本編集部員。協議事項:8月号編集につき最終的打合せを行った。

3. 第2回会誌抄録委員会 (昭.32.7.2)出席者:八十島委員長,岩間,垣中,高秀,高橋,西沢,松本(代),堀井,山田,湯浅,渡部の各委員,山口幹事。協議事項:1)42巻8号登載用として5編を予定,2)8月号文献目録を協議,3)抄録委員会内規の審議,4)その他。

4. 第1回論文集各部会 (昭.32.7.5)出席者:(第1部会)岡本前部会長,山田,大地,高田,後藤,村上,樋口,山口の各委員,久保前幹事。(第2部会)佐藤,村,岡田,松田,栗津,内藤,嶋,林(前),関(前)の各委員。(第3部会)谷藤,市原の両委員。(第4部会)佐島前部会長,友永,黒河内,及川,春日屋,藤原,渡部,北岡(前)の各委員,徳平幹事。議事:1)各部会で部会長幹事を互選の結果次のとおり決定

委員長 友永 和夫  
第1部会長 山田 順治 幹事 山口 柏樹  
第2部会長 佐藤 清一 幹事 嶋 祐之  
第3部会長 谷藤 正三 幹事 市原 松平  
第4部会長 友永 和夫 幹事 春日屋伸昌

2)各部会論文審査報告,新規受付原稿の審査委員決定。

5. 第1回論文集編集部会 (昭.32.7.16)出席者:

友永委員長,佐藤,谷藤の両部会長,山口,栗津,春日屋の各部会幹事,国分編集部長,徳平幹事。議事:1)各部会の報告,2)編集方針について,3)論文集第48号(10月末発行予定)登載論文を次のように予定した。

近藤・岡田・渡辺・坂村:プレストレストコンクリート舗装に関する実験的研究,毛利正光:バスターミナルの計画運営の理論に関する研究,村山・鈴木・赤井:被圧地下水の揚水による帯水層常数の決定に関する二,三の考察,川島晋:下水貯留濃縮槽の底部勾配,佐藤裕:連続弾性支持二重バリの点荷重による変形,小松定夫:箱桁橋の実用計算について。

6. 海岸保全施設幹事会 (昭.32.7.3)出席者:本間委員長,白石,有賀,中本,石綿の各幹事。議事:海岸保全施設設計便覧原稿の調整。

7. 水理委員会懇談会 (昭.32.7.4)出席者:安芸委員長,米屋幹事長,伊藤,東(代白石),近藤の各委員。協議事項:今回欧州に出張される伊藤剛氏がIAHRの大会に出席された場合に同理事会で問題になる事項について検討。Ippen教授の招請状を伊藤氏に托すること。

8. 海岸工学委員会 (昭.32.7.15)出席者:本間委員長,中島,佐藤(代木村),山内,太田尾,新妻,石原(代樫木),多谷,宇野木,真嶋,佐島,栗津,堀川,白石の各委員。議事:1)決算および予算の説明(白石幹事),2)海岸保全施設小委員会経過報告(白石幹事),3)海岸工学用語小委員会経過報告(堀川幹事),4)波力小委員会はまだ活動していないが近々のうちに開始したい,5)講演依頼先を協議,6)講演会の幹事として有賀世治君,中部支部の方は中島委員協議の上連絡すること,7)委員追加交代,肥後春生君の後任に比田正君,有賀世治君(追加),宇野木君は用語小委員会のみとする。

9. 第5回土木設計管理小委員会 (昭.32.7.17)出席者:平山振興委員長代理,比企委員長,加納,田中,久保,仁杉(代坂),畠山(代松原),増山,近藤,八十島,秋山(代近藤),河野,大西,吉田(赴)の各委員,磯部幹事。議事:1)比企委員長から科学技術庁における技術士法における専門区分に関する打合結果報告(本年10月予備試験,明年5月本試験を行う予定),2)土木設計管理業務基準試案について磯部幹事から説明し,これを根本として協議した,3)加納委員からEngineering Methodについて説明,4)基準を作製するに当り事業主体を考慮するかどうか検討した結果,純技術的方面から原案を作製して,のちに考慮する必要があるれば,そのとき訂正加除する方針とする。第6回同委員会 (昭.32.7.31)出席者:比企委員長,近藤,久保,塘,田中,豊田,加納,大西,吉田良(代)の各委員,磯部幹事。議事:1)技術士試験について専門部門の分け方を協議(建設の①都市計画および地方計画,②上下水道,③河川,④港湾,⑤水力,⑥道路,⑦鉄道,⑧構造の8部門に土木一般を加え,構造をa.土質基礎,b.鋼構造,c.コンクリートと3分するを適当と認む)との結論を得た,2)大西委員から印度ジャルタカ河発電建設計画の入札経過を

資料について説明。

10. 第4回原子力委員会 (昭.32.7.19)出席者:岡本, 高坂, 米屋, 豊田, 近藤, 藤原, 篠原の各委員, 白石幹事, 講演者 安芸皎一君, 傍聴者 太田尾広治君, 議事: 福田委員長欠席につき岡本委員代理で司会。1) 本委員会の名称を「原子力土木技術委員会」と改称すること, 2) 各関係方面に本委員会設定について通告した, 3) 次回は藤原委員から廃棄物処理問題について講演すること, 4) 安芸皎一君から世界の原子力事情について約1時間にわたり講演あり, わが国における原子力発電に関する意見を聞いた。
11. 橋梁構造委員会 (昭.32.7.26)出席者: 福田委員長, 成瀬, 松村, 平井, 小西, 友永, 川口, 田原, 田中(五)の各委員, 菊池幹事。議事: 1) 小西委員にインドのS.L. Bazaz 氏から IABSE のメンバー中でアジア橋梁技術者の会議をもつたらどうか, との提案に対し協議の結果, 今秋道路会議が開催される際各代表者と下相談すること, 2) 9月6日研究発表会について報告, 3) IABSE の理事会に目下渡米中の奥村君が出席するよう JSC で決定したと平井委員から報告, 4) 文部省学術局長から南極探検用パドルおよびクラック用橋梁の実験を7月31日行うから意見を聞きたいと福田委員長に案内があつたので, 成瀬, 友永, 田中の各委員が出席することとした。

◎関係学協会その他の動き

1. 日本学術会議橋梁構造工学研究連絡委員会 (昭.32.7.26)土木関係出席者: 福田委員長, 友永, 田原, 平井, 小西の各委員。議事: 1) 第3回研究発表会 (9月6日) のプログラム編成。
2. 日本学術会議材料試験研究連絡委員会運営委員会および講演実行委員会 (昭.32.7.30) 土木学会から国分委員, 中川書記長, 捧箸主任出席。議事: 1) 10月開催の第

- 1回講演会のプログラムの編成, 2) 英文 Proceedings 発行について打合せ。
3. 日本学術会議第5部地震懇談会 では1960年第2回世界地震工学会議を, 日本で開催する案について協議し, 成案を得たので, 同会議審議会に提出していたところ7月25日運営審議会で決定した。今後準備委員会を構成して準備を進めるとのことである。
4. 日本技術士会懇談会 (昭.32.7.1) 本会から篠原副会長出席, 先般技術士法が公布された祝賀をかね, 各学協会の協力を要望された。
5. 造船協会 では創立60周年記念式典を学士会館で7月20日挙行, 非常に盛大であつた。
6. 文部省国立競技場設立協議会建設部会走路特別委員会 を7月15日競技場現地で開催, 走路の設計が決定された。
7. 日本工業教育協会 では7月7,8両日年次大会を開催し, 建設部会では土木関係として内海, 末松, 立花の3氏を囲んで工業教育に関する座談会を開催し, 非常に有意義であつた。
8. 日本科学技術情報センター設立委員会 から同センターの円滑な業務を行うために全国の科学技術者の理解と援助を要請し, 学協会誌にその趣旨を説明しアンケートを求めるよう依頼があつた (別掲参照)。

支 部 だ よ り

1. 東北支部 第1回見学会 (昭.32.7.6~8)参加者82名。6日磐越西線会津若松駅前集合, バス4台に分乗, 午後6時只見着, 7日電発所長の田子倉ダム総合説明および現場見学を行い帰路に着く, 途中本名, 沼沢沼, 宮下の各発電所を見学, 東山に宿泊, 8日朝解散。

名 譽 員 賛 助 員 特 1 級 A 会 員 現 在 数 (昭.32.7.31.現在)											
名 譽 員	賛 助 員	特 1 級 A	会 員 B	会 員 C	現 在 特 2 級	特 3 級	正 員	准 員	学 生 員	合 計	増 加
23	30	8	8	54	97	109	7055	5023	1193	13600	91

- 昭和 32 年 7 月 分 入 退 会 報 告 (昭.32.7.1~7.31)
1. 入 会 124 名 (正 35, 准 30, 学 生 53, 特 2 級 5, 特 3 級 1)
2. 退 会 30 名 (正 11, 准 16, 学 生 3)
3. 重 復 に て 減 ず 3 名 (准 2 特 1 A 1)
4. 転 格 39 名 (准 より 正 へ 20, 学 生 より 准 へ 4, 正 より 准 へ 3, 准 より 学 生 へ 1, 特 1 より 特 1 A へ 1, 特 1 より 特 1 B へ 2, 特 2 より 特 1 C へ 5, 特 3 より 特 2 へ 3)

正 員	柳 内 泰 夫 君	札幌市役所建設部勤務	昭和 32 年 6 月 24 日 逝 去	享 年 45 才
准 員	今 野 重 男 君	国鉄札幌鉄道管理局施設部勤務	昭和 32 年 7 月 30 日 逝 去	享 年 48 才
准 員	田 中 久 男 君	京阪電気鉄道KK大津支社勤務	昭和 32 年 6 月 24 日 逝 去	享 年 37 才
准 員	竹 内 正 太 郎 君	京阪電気鉄道KK勤務	昭和 32 年 7 月 15 日 逝 去	享 年 44 才

昭和 32 年 8 月 10 日 印 刷  
 印 刷 者 大 沼 正 吉  
 編 集 兼 発 行 者 中 川 一 美  
 定 価 100 円

昭和 32 年 8 月 15 日 発 行  
 印 刷 所 株 式 会 社 技 報 堂 東 京 都 港 区 赤 坂 溜 池 5 番 地  
 発 行 所 社 団 法 人 土 木 学 会 東 京 都 新 宿 区 四 谷 一 丁 目 (外 濠 公 園 入 口)  
 振 替 東 京 16828 番 電 話 (35) 5130・5138・5139 番